

JAきたみらい

おひさま サタタ

2015



vol.144

1

迎春



はいっポーズ!

《訓子府地区・北栄》

南 ^{ゆきな} 柚季奈ちゃん (紹介は2ページです)



初日の出

真っ赤な太陽が東の空から昇り、新たな年の幕が上がる。初日の出を見上げるときは毎年ながら感慨深い。

常呂川水系の仁頃川を水源とする富里ダムは農耕期にはかんがい用水として利用され、冬の間にはワカサギ釣りで賑わいを見せる。1月の解禁日まで日々着々と凍結していく。

凍結が進みつつも流れゆく湖面を見つめ、昨年を振り返り、過ぎたことは流しながらも今年こそはと気を引き締める。新たな決意のもとこれからの1年に立ち向かいたい。

(高田 陽介)

【12月13日 午前7時10分 気温-8℃ 富里ダムより撮影】

表紙紹介

急激に寒さが厳しくなってきた12月14日、南さん宅を訪ねるとお父さんの祐司さんに抱っこされた袖季奈ちゃんが出迎えてくれました。撮影時には横に並んだ羊さんに手を伸ばす袖季奈ちゃん。仲良しな写真が撮れました。

撮影準備の際にはロープを携える祐司さんの周りを羊がぐるぐると走り回り、元気いっぱい様子でどうなることかと心配しましたが、お母さんの香代さんと袖季奈ちゃんが家から出て来るころには大人しくなり、無事に撮影となりました。

群れをなす羊は家族の安泰や平和をもたらすとされています。本年も組合員みなさんが怪我なく無事に過ごせるようご祈念申し上げます。(高田陽介)



【ご家族紹介】

左から～お父さんの南祐司さん、お母さんの香代さん、袖季奈ちゃん(1歳11か月)

南さんは経産牛や育成牛など約50頭を飼育する酪農複合農家です。



もくじ CONTENTS

○おひさまサラダクッキング 「白」ま風味の豆乳鍋 「干し柿入り紅白なます」	○JAからのお知らせ	○JAきたみらい ホットライン東西南北	○外郭三組織 設立10周年記念 式典・記念講演会	○年頭の「挨拶」 「足元を見つめ直し」 課題を乗り越えていく	○季節の薫り
20	16	12	6	4	2

新春特集

「私の夢と希望」……………8

足元を見つめ直し 課題を乗り越えていく



きたみらい農業協同組合

代表理事組合長
西川 孝 範

新年明けましておめでとございます。組合員の皆様をはじめ、ご家族の皆様には、健やかに平成27年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、皆様にはJAきたみらい事業運営に対し日頃より深いご理解とご協力を賜り、厚く感謝とお礼を申

し上げます。

今年の干支は未年（ひつじどし）であります。群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味しております。あらためて家族や農村社会の結びつきを大切にし、地域農業・地域社会の共存共栄を目指すスタートの年になれば

と願うところであります。さて、昨年を振り返りますと春耕は近年になく順調なスタートとなったものの、一部干ばつの影響により小麦については、収量の低下がみられました。地域や個人に差があるものの各作物とも平年並みの出来秋を迎えることが出来ました。

近年、異常気象が続く厳しい環境下でありながら、平年作の収量を確保することが出来たことについては、組合員皆様の長年にわたる生産基盤の整備と営農努力、関係機関のご指導の賜物であり、衷心より感謝とお礼を申し上げます。

平成24年11月に開催した第27回JA北海道大会において、「持続可能な北海道農業の実現」と「次代を担う協同の実践」について決議され、時代の変化を踏まえたなかで、JAグループの組織・事業機能の充実強化に向けた自らの取り組みを進めつつ、一般消費者に対する情報発信を行いながら、農業やJAの強力な応援団づくりを進めていくことが重要であり、また「組合員の営農と生活を守り向上させる」という目的を踏まえ、最大限の努力を傾注し、第4次農業振興方策並びに中期経営計画の達成に向け、機能の総力を結集し積極的に取り組んでまいります。

平成26年は農業・JAをとりまく個々の情勢変化に加え、年末には、衆議院議員選挙が実施されるなど、まさに激動の一年でした。我が国の農業をはじめ国民生活のさまざまな面に大きな影響を及ぼしかねないTPP交渉に関しては、関係国の首脳・閣僚・交渉官等による各種会合並びに交渉が継続的に行われています。昨年11月に行われた関係国の首脳

会合では、結果として大筋合意には至らず合意の目標時期も明示されませんでした。協定の早期妥結に向けた取り組みをさらに進めていくことなどを確認し合った経過にあり、今後とも予断を許さない情勢にあります。国のかたちを大きく変容させかねない重大な交渉であるにもかかわらず、依然として具体的な情報開示がなされておらず、国民不在のもとでの交渉に大きな不安と憤りを感じざるを得ません。

一方、規制改革会議における答申を踏まえ、JAグループ北海道として「JAグループ北海道改革プラン」を策定しております。

今後、その内容を踏まえ、組合員の皆様方と力を合わせJAグループとしての機能・役割をより一層発揮し、国民各層の理解醸成を図りながら、改革プランにもとづく事業展開を積極的に推進してまいりたいと考えております。

世界規模での異常気象、人口増加、新興国の経済情勢の変化など国内外の情勢がめまぐるしく変化している

昨今であります。JAきたみらいが今一度足元を見つめ直し、組合員の皆様方には、こういつた時だからこそ、協同組合の意義、組合員の役割についてあらためて振り返り、また各関係機関の方々のご協力を頂いたなかで、各種課題を乗り越えていくという強い信念と実行力が求められています。

「地域がよくなるためには、組合員一人ひとりが良くなる」という理念のもと「組合員の営農と生活を守る」ということを念頭に置き、役員一丸となりJA運営に取り組んでまいりますので、組合員の皆様方の更なるJAへの総結集をお願い致します。

結びにあたり、組合員の皆様の益々のご健勝と災害がなく豊穡の出来秋を願い、さらなる飛躍の年になりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶と致します。

JAきたみらい青年部・女性部・フレッシュミズ
 設立10周年記念式典・記念講演会
 節目10年、今後の組織充実を誓う!!

JAきたみらい青年部・女性部・フレッシュミズ10周年記念事業実行委員会は12月10日、センター事務所大会議室にて10周年記念式典並びに講演会を行い、歴代役員や部会員ら約100人が出席しました。

(高田 陽介)

謝意を込め功労者を表彰
 設立10周年記念式典



▲米森青年部長より感謝状を授与される小野初代部長(左)

記念式典では組織設立に向けた準備組織である連絡協議会の会長と歴代の部長に感謝状が贈呈されました。

実行委員長の小野初代部長は「先人たちが時代の流れに合わせながら、今日の組織体制を築き上げてきた。10周年記念を契機として、更なる農業の発展と、明るく豊かな農村を築き上げることを目指して、一層の努力を重ねていくことが、私たちの責務であると考えています」と、感謝と決意を述べました。

続いて坂下専務よりお祝いの言葉とこれからの組織発展に期待を込めた祝辞をいただいた後、祝電披露、表彰式が執り行われました。

表彰者を代表し、小野俊浩初代青年部長は「設立にかかわったメンバーは何物にも代えがたい財産。自分を支えてくれた仲間や関係機関、応援してくれた部員に心から感謝し、さらなる組織の発展を期待したい」と謝辞を述べました。



▲祝辞を述べる坂下専務



▲齊藤女性部長より感謝状を授与される坂下初代部長(左)



▲坂下フレッシュミズ会長より感謝状を授与される萬城初代会長(左)

記念講演

女性活動の
 更なる活性化を
 和歌山県中央会 中家 徹 会長

式典終了後、記念講演会として和歌山県農業協同組合中央会の中家徹会長が「女性に見捨てられた農協に未来はない」と題して講演を行いました。中家会長は「社会全体として女性の活躍が目覚まし、女性が活躍する企業や組織は発展すると

いう統計もある。また、JA事業が営農の両輪として生活にも取り組むうえで、女性のJAファンのために女性の視点が不可欠であり、女性参加が求められる。女性参画は、女性の声を反映・活用して初めて達成されること。女性は遠慮しているそぶりを見せながらも、活動に対してものすごいパワーを発揮する。その姿をどんどん情報発信し、地域で支えて女性参画の風土を作り上げてほしい。女性活動のさらなる活性化を願っている」とエールを送りました。



▲中家会長の講演に聞き入る参加者のみなさん



▲女性活動の重要性を説く
 中家会長



▲質問をする山崎ゆかりさん



▲質問をする井上幸恵さん

フレッシュミズ	女性部
平成25年度 穴田 優子	平成25年度 齊藤のり子
平成24年度 菅野あけみ	平成24年度 齊藤のり子
平成23年度 森谷裕美	平成23年度 上原由紀子
平成22年度 吉田美穂	平成22年度 貝沼輝美
平成21年度 下田裕美子	平成21年度 吉田和子
平成20年度 西若かおり	平成20年度 戸田富美子
平成19年度 本條幸恵	平成19年度 清井久美子
平成18年度 小林としみ	平成18年度 福井幸子
平成17年度 平野美香子	平成17年度 五十嵐真知子
平成16年度 萬城一葉	平成16年度 坂下恵子
平成15年度 寺崎淳子	平成15年度 渡辺茂子
平成14年度 大邑浩子	平成14年度 所 好恵
平成13年度 柏原千恵子	平成13年度 井上一美子
平成12年度 小川美代子	平成12年度 土橋博美
平成11年度 佐藤真美子	平成11年度 菅原征子
平成10年度 重富小百合	平成10年度 山下隆子
平成9年度 角田優子	平成9年度 高城美恵
平成8年度 佐伯真由美	平成8年度 高城美恵
平成7年度 角田優子	平成7年度 高城美恵
平成6年度 加藤真由起	平成6年度 大武豊子
平成5年度 桜井恵理子	平成5年度 中尾のぶ子
平成4年度 奥村理恵	平成4年度 山崎ゆかり
平成3年度 今田 恵	平成3年度 山崎ゆかり
平成2年度 西原真知子	平成2年度 黒須倫子
平成1年度 黒須美保	平成1年度 黒須倫子
平成0年度 中西智子	平成0年度 川岸啓子

歴代の正副部会長 (敬称略)
青年部 (就任年度) (部長) (副部長) (〃)
平成15年度 小野俊浩 (部長) 竹中義博 (副部長) 矢田目孝裕 (〃)
平成16年度 小野俊浩 竹中義博 矢田目孝裕
平成17年度 竹中義博 大槻尚浩 長山正吉
平成18年度 大邑和治 荒 伸一 下地秀俊
平成19年度 井上一味 五十嵐亨 榎本 徹
平成20年度 田中雄二郎 田中 圭 黒須友和
平成21年度 村上孝幸 上野雅美 本條康浩
平成22年度 長山和弘 八木沼朋紀 井上貴博
平成23年度 中村圭一 奥山拓博 岡田啓伸
平成24年度 佐藤正人 児玉 涉 北川卓也
平成25年度 荒 喜文 川畑師和 森谷祐樹
女性部 (就任年度) (部長) (副部長) (〃)
平成15年度 渡辺茂子 (部長) 所 好恵 (副部長) 樺山由紀子 (〃)
平成16年度 坂下恵子 井上一美子 中村美智子
平成17年度 五十嵐真知子 土橋博美 本田ゆかり
平成18年度 福井幸子 菅原征子 森谷道子
平成19年度 清井久美子 山下隆子 福井小夜美
平成20年度 戸田富美子 高城美恵 大武豊子
平成21年度 吉田和子 高城美恵 中尾のぶ子
平成22年度 貝沼輝美 山崎ゆかり 大林法子
平成23年度 上原由紀子 山崎ゆかり 荒 えみ子
平成24年度 齊藤のり子 黒須倫子 西森美代子
平成25年度 齊藤のり子 黒須倫子 川岸啓子

新春特集



私の夢と希望

今年の干支は未年です。新春特集として今年の「年男」「年女」のみなさんにご協力いただき、新年を迎えるにあたって新たな夢や希望をお伺いしました。

結婚30周年旅行へ

今年は結婚30周年を迎えるのでどこか旅行に行きたいですね。孫も生まれたので札幌まで顔を見に行きたいし、健康面には気を付けたいです。また近年の異常気象にも対応した営農をしていきたいです。エコファーミング研究会の活動にも力を入れ、微生物をうまく活用していきたいです。



端野地区・協和
みね よういち
嶺 陽一さん
(1955年生まれ)

少しずつ、仕事を覚えたい

新年おめでとうございます。昨年は4人目の子どもが生まれ、家事・育児に追われ、あっという間に過ぎた1年でした。今年は子育てをしながら少しずつ農業を手伝い、仕事を覚えていきたいです。



北見地区・美里
さとう あきこ
佐藤亜希子さん
(1979年生まれ)

地域に貢献できる酪農家に

明けましておめでとうございます。早いもので温根湯に酪農家として新規就農してから、地域のみなさまに助けられ9年が過ぎました。ありがとうございます。今年は酪農家10年目、これからは地域に貢献できる酪農家を目指し、乳牛の頭数も増やしていきたいです。



温根湯地区・平里
きたやま よしかず
北山 寿和さん
(1979年生まれ)

充実した日々を

新年明けましておめでとうございます。今年は食から健康に気を付け、仕事に興味に充実した日々を過ごしていきたいです！



相内地区・西相内
おおはしか なこ
大橋加奈子さん
(1979年生まれ)

卓球と勉強を頑張りたい!

明けましておめでとうございます。ぼくは、卓球をやっています。去年は卓球で全道大会に行きました。今年は小学6年生になるので、ゲームはほどほどに、勉強と卓球を頑張ります。今年も卓球で全道大会に行くぞう！



留辺蘂地区・瑞穂
むらかみ りん
村上 凜さん
(2003年生まれ)

家族のために

H26年は結婚をして一層の責任感を感じる一方、新しい家族を迎えて楽しい毎日を送っています。また、来年は新たな作物を導入することもあって、ここ最近で人生の大事な局面を迎えている感じがしています。家族のために頑張って安定した経営を目指し、道外へ家族旅行に行きたいです。



訓子府地区・柏丘
いわぶち としかず
岩淵 寿和さん
(1976年生まれ)

家族みんなで仲良く

昨年、2人目の孫が生まれたり、娘が結婚したりと嬉しいことが続きました。息子も就農して3年目になるので、いろいろなことができるようになるかな?と期待しています。家族が元気で仲良く働き、秋を迎えられたらと願っています。本州で暮らす3人の子供たちのところへ遊びに行くことを楽しみに、汗水流して、年のことは考えずに頑張ります！



上常呂地区・常川
こうだ
合田まゆみさん
(1955年生まれ)

夫婦で旅行に

H26年は一時期病に倒れてしまいましたが、お陰様で全快し、思い切って夫婦で2泊3日の自動車旅行に出掛けました。走りやすい道も覚えたことだし、また今年も行きたいですね。育成牛の世話や牧草収穫の手伝いをして息子たちを応援しながら健康を維持していきたいです。



置戸地区・常盤
やす きよし
安 喜義さん
(1931年生まれ)



剣道を頑張りたい!

私は、小学校4年生から剣道を続けています。今年もかぜに気をつけながら練習に励みたいです。
4月から中学生になりますが、中学校に行っても友達と楽しく学校生活を送りたいです。



端野地区・川向
みすぐち りんだ
水口 凜愛さん
(2003年生まれ)

健康に営農に励みたい

明けましておめでとうございます。早いもので5度目の年男となりました。
仕事以外ではインドア派な私ですが、今年も健康に留意しながら、豊作の秋を迎えられるように営農に励みたいです。



北見地区・大正
やぎぬまてるゆき
八木沼照幸さん
(1955年生まれ)

仲間でチーズ作りと旅行に

新年おめでとうございます。
今年も年女、人生の節目の年還暦を迎えました。今年1年家族皆が健康でけがなく農作業に励み、笑顔で実りの秋を迎えられる様願っています。
時間をみては仲間とチーズ作りをしたり、旅行にも行ってみたいですね。



温根湯地区・大和
しもごめ きめえ
下込 絹恵さん
(1955年生まれ)

今年も全道大会に

ぼくは、少年野球の東相内ヤンチャーズでキャプテンをしています。キャッチャーで4番バッターです。去年は全道大会に出場しました。今年も優勝して全道大会に行くぞう。
夢は駒大苫小牧高校に行って、プロ野球選手になりたいです。



相内地区・柏木
きたぐち しょうま
北口 祥夢さん
(2003年生まれ)

家族の健康と和牛素牛の高値推移

皆様、明けましておめでとうございます。
昨年の和牛素牛は、資源不足感から高値安定の相場で推移しました。
今年も家族が健康で過ごし、和牛素牛が事故なく高値で推移することを願っています。



留辺蘂地区・瑞穂
こんべ なおひろ
今部 直広さん
(1955年生まれ)

穏やかなゆとりある生活を

昨年は久々に天候にも恵まれ営農に関しては良い年でしたね。日常生活ではありふれた日々が訪れることが幸せなんだと実感した年でした。
今年もマイナスのことはリセットして穏やかなゆとりある生活を送れたらいいですね。好きな音楽を聴いたり、自分の時間も作って仕事も楽しくできるように頑張ります。夫婦で旅行もしてみたいですね。



訓子府地区・駒里
けぶさちえみ
毛房智恵美さん
(1967年生まれ)

家族でハワイに

明けましておめでとうございます。
娘(朱里ちゃん)が1歳になり、日々の成長がとても楽しみです。もう少し大きくなったら、家族みんなでハワイへ行きたいです。
そのためにも今年1年、家族が健康で、実り多い秋を迎えられるよう頑張ります。



上常呂地区・常川
きむら のりゆき
木村 憲幸さん
(1979年生まれ)

体力づくりを頑張る

今年一番頑張りたいことは体力づくりです。来年入学する中学校でも元気いっぱい過ごせるように、今は勉強の前に体幹を鍛える体操やストレッチに取り組んでいます。給食も好きだからちゃんと食べていて、中でもカレーライスが大好きです。いつも仲良くしてくれている家族や友達ともいっぱい遊んで、去年よりもっと楽しい思い出をつくりたいです。



置戸地区・安住
ふだ
布田ちひろさん
(2003年生まれ)



東 西



南 北



温根湯

クリスマス料理を習得!

～野菜たっぷり料理に大満足～



▲森川講師(左)に教わりながら作業する参加者

12月15、16日の2日間に毎年恒例となった女性部(山梨則子支部長とフレミズ(児玉香織支部長)の合同料理講習会を行い、2日合わせて女性部員14人、フレミズ8人が参加しました。

今年のテーマは家でもおなじみの食材を使ったクリスマス料理。シュニア野菜ソムリエの森川寿恵氏を講師に、旬を感じながら野菜を楽しめるよう、メインに鶏肉と大根ときのこのクリーム煮やほうれん草のスープ、パプリカのマリネといった赤と緑と白のクリスマスカラーが目を引き、デザートには野菜ソムリエならではの力ポチャのティラミスに粉砂糖でデコレーションし、味はもちろん見た目もカワイイ料理に大満足でした。

(丸山 恵理)

相内

みんなで楽しい餅つき

～東相内小学校 実習体験～



▲力一杯に餅をついて楽しむ東相内小のみんな

北見市東相内小学校では12月12日、5年生児童29人が父母らの力を借りて「餅つき」を行いました。

児童たちが春先から行ったもち米植え付け・稲刈り・脱穀・精米までの一連の農業体験を終え、収穫したもち米を使って「餅つき」を行いました。2台の臼を使い、班ごとに分かれてそれぞれ力一杯餅つきを楽しみました。出来上がった餅は丸められ、大きさも形も様々でしたが、最後の実習体験を楽しんでいました。

終了後に、「感謝の集い&学習発表会」を開催し、児童たちがそれぞれテーマごとに発表を行い、植え付けから精米までの流れをもう一度振り返っていました。児童からの感想では「田んぼはぬるぬるして入るのが嫌だったけど、慣れてくると楽しかった」と話してくれました。その後児童たちから、今回参加した関係機関に稲わらで作ったしめ縄や、自分たちで育てて作ったポップコーンなどが記念品として贈られました。

(梅澤 大)



▲ストーンを投げる「デリバリー」を行う合田支部長(中央)

カーリングでエリア内交流

上常呂

～3支部合同で東エリア交流会開催～

J Aきたみらい女性部上常呂支部(合田明子支部長)は12日、河西カーリングホールにて北見支部、端野支部と合同で東エリア内交流を行い、上常呂支部11人を含む38人が参加しました。

はじめに講師からカーリングの歴史やルールの説明を受けたあと、リンクに上がり、ストーンの投げ方やブラシの使い方を教わりました。

練習後はいよいよ試合開始。4～5人のチームに分かれ、得点を競いました。参加者の多くは、この日がカーリング初体験。はじめは慣れない様子でしたが、試合を進めるうちにめきめきと上達し、ストーンが目的の位置に入ると歓声があがりました。

部員のみなさんは、「難しくなかったけど楽しかった」と話し、支部の垣根を越えた交流を楽しみました。

(埴山 里子)

置戸

50周年の節目祝う

～置戸町玉葱振興会 記念式典開催～



▲感謝状授与に臨む歴代会長

置戸町玉葱振興会(井上会長)は11月19日に置戸町中央公民館で設立50周年記念式典を行い、生産者や関係者ら約60人が出席しました。

式典開催にあたり、同会の井上会長は「今日の発展を得るまでには、自然災害や産地廃棄など大きな試練が繰り返されてきた。今日でも様々な課題に直面するが、先人たちの苦勞を顧みれば不可能という文字はなく、私たちにも試練を乗り越える力が受け継がれている。一人ひとりが良い玉葱を作ることに全力を注いで明るい未来を創る礎を築きたい」と挨拶を行いました。

会の発展に貢献した歴代会長の岡田利明、守矢武、須藤久義、中澤博之の各氏に感謝状が贈呈され、式典後の懇親会では歴史を振り返りながら話に花が咲きました。

同振興会発足時は9分の作付けでしたが、現在では会員19戸、175畝に拡大しています。

(山内 庸平)



東



西



南



北



端野

指先から美しく

～会員7人が
ジェルネイルに挑戦～



▲指先に集中しながらジェルネイルに取り組む会員たち

JAきたみらいフレッシュミス端野支部（丸本有香支部長）は12月16日、端野地区事務所で開催された講習会に、会員7人が参加しました。

講習会ではネイルが得意な会員2人に教わりながら、ジェルネイルに挑戦。はじめに、会員が準備した爪のサンプルや雑誌のなかより、好みの柄を選びました。続いて、各自で甘皮や爪の表面を整えた後、爪に下地、カラージェル、トップジェルを順に重ねて塗っていく。専用の機械でUVライトを照射してジェルを硬化させ、ジェルネイルが完成しました。

会員たちは会話も弾むなか、指先に集ましながらカラージェルを塗ったりパーツを載せていきました。なかには牛柄やヒョウ柄、ふなっしー柄を描いた力作も見られ、講習会終了後は参加者の指先は個性の光る可愛いものに仕上がりました。

（横田 佳織）

北見

パン作りに 挑戦！

～焼きたての
おいしさに感動～



▲アドバイスを受けながら生地を丸める参加者のみなさん

きたみらい豆類振興会北見支部（奥村和也支部長）は12月11日、端野町農業振興センターにて「パン作り交流会」を行いました。

参加した5人のメンバーは同センター職員の指導を受けながら、豆パン、あんパンなど全5種類のパンに挑戦。「こねすぎると柔らかさがなくなるので注意して」とアドバイスを受けると慣れない手つきで慎重に生地を丸めていました。開始から3時間後には200個近くのパンが出来上がり、参加者は普段なかなか食べることのない焼きたてのパンのおいしさに思わず感動。試食中には家庭の話や今年の作況を話題に交流を深め、来期に向けての活力となりました。

奥村支部長は「農家件数、作付面積ともに増えることを期待している。来年の交流会はより賑やかになればと思う」と話してくれました。

（石井 睦美）

留辺蘂

冬場の 運動不足解消に

～リズムに合わせて
いい汗を～



▲リズムに合わせて踊る部員のみなさん

12月16日に女性部留辺蘂支部（橋佳子支部長）は、運動インストラクターの硯見よ子氏を講師に迎え、ストレッチ体操と誰でもできるリズム体操を行い、部員12人が参加しました。

はじめに各自持参したバスタオルやヨガマットの上で念入りにストレッチを行ってから、リズム体操を実施。アツプテンポの音楽に合わせて、簡単なステップを繰り返しながら踊り、最初と中盤で脈の違いを体感しながら、冬場の運動不足解消にと、1時間いい汗を流しました。

参加した部員からは「なかなか家で運動することはできないので、皆で集まってやるのがいい。辛くなっても皆が頑張っているのを見れば、最後まで頑張れる」と話してくれました。（丸山 恵理）

訓子府

手作り品で おもてなし

～女性部収穫感謝祭に
250人来場～



▲手作り品を試食する来場者

女性部訓子府支部（林比呂子支部長）は5日、訓子府町公民館にて第16回収穫感謝祭を開き、約250人の町民が訪れました。

開会式で林支部長が「丹精込めて作った農産物で工夫を凝らした作品をたくさん作ったので、楽しんでいってほしい」と挨拶。

毎年恒例、訓子府産馬鈴しよを使った「もだんご入りのお汁粉無料配布」には、開場とともに行列ができました。

また、「お母さんの手作り品」と題し、女性部員が農作業の合間に作った手芸品やお手製料理の展示コーナーも設置。出品された23点の料理にはすべてに試食を用意し、町民は様々な工夫が凝らされた料理を食べ比べて楽しんでいました。

野菜や手芸品の販売コーナー「ミニコン市」では部員が持ち寄った自家製の商品が格安で販売され、お目当ての品を求める来場者で賑わいました。

（石井 睦美）

INFORMATION

仕事や家事への活力へ 女性部 合同研修会

JAきたみらい女性部は11月28日、北見市民会館にて支部合同部員研修会を開催し、8支部から計127人が参加しました。

午前の部では音楽療法士高本恭子氏を講師に招き、「私の歌 あなたの歌 つながってるよ 心の歌」と題し、音楽を用いた心と体のケアについて講演。実際に音楽療法士として病院で勤務している体験などから、子どもの鬱、婦人病や夫への接し方など女性特有の悩みに対し、処方箋となる音楽を紹介しました。自身の人生経験を交えながら語る高本講師の話に涙を流しながら聞き入る部員もおり、講演終了後、会場は大きな拍手に包まれていました。

午後には「フラワーアレンジメント」と「歌謡ピクス」の2コースに分かれ研修会を行い、参加者はリフレッシュした様子で、今後の仕事や家事への活力としました。(石井 睦美)



▲音楽を用いた心と体のケアを話す高本恭子講師



▲歌謡ピクスで楽しく体を動かす女性部員のみなさん

全道大会 優勝 遠藤正人部員 東北・北海道大会へ

全道JA青年部大会が12月4・5日の2日間、札幌市内のホテルで行われ、きたみらい青年部から24人が出席しました。

初日は「JA青年部の主張発表」と「JA青年部活動実績発表」、「分科会」、「純農Boy北海道オーディション」等がありました。

純農Boyオーディションとは、農業青年及びJA青年部のイメージアップを図るため、農業・JA青年部活動に対して人一倍熱い情熱を持った盟友を発掘するもので昨年からはじまり、今年はオホーツク代表として当青年部の遠藤正人部員が出場。ギターを演奏して会場を沸かせ、見事グランプリを受賞しました。

翌日は、プロスキージャンプ選手・船木和喜氏を講師に招き「メダリストの役割」と題し記念講演がありました。

最後に大会宣言を採択し、閉会しました。

なお、遠藤正人部員は1月15日に青森市で行われる平成26年度東北・北海道地区JA青年大会に出場するほか、関連ポスターに採用され、農業の情報発信にご協力頂きます。組合員皆様からもご声援のほど、宜しくお願い致します。(梅澤 大)



▲見事グランプリを受賞した遠藤正人部員のギター演奏の様子



▲JA青年組織綱領を朗唱するきたみらい青年部のみなさん

連載 TPP交渉について⑧ 日本の森林・林業とTPP交渉の課題(後編)

東京農業大学生物産業学部長 黒滝 秀久氏



<経歴>
氏名 黒滝 秀久 (クロタキ ヒデヒサ)
所属専攻講座 生物産業学部・地域産業経営学科
研究分野・キーワード (日)環境経済学・農業経済学・林業経済学
出身大学院 東京農業大学 農学研究科 農業経済学専攻 博士前期課程、1981年03月、修了
取得学位 博士(農業経済学)、東京農業大学(Tokyo University of Agriculture)、取得方法:論文、2000年01月

前回は、1951年の丸太の関税撤廃や1964年の木材輸入の完全自由化をはじめとした輸入加速政策により、産業としての林業が衰退の一途をたどることとなったことについて言及した。こうした状況下でのTPP交渉への参加は、主要国・地域との経済連携の重要性は十分に認識すべきであるものの、既に関税引き下げや貿易自由化などで大打撃を受け疲弊している日本林業を衰退させ、林業・木材産業全体の存続の危機となる懸念される大問題である。仮にTPPにより合板や集成材等の関税がゼロになった場合、林産物の生産量減少率は5・7%、生産量減少額は全国で490億円(農林水産省試算)と推計されている。そのうち北海道の減少額は33億円(北海道推計)であり、これは木材製品出荷額の1割程度に相当する大きな金額である。こうした事態となれば、価格の安い輸入材の増加によって、我が国の森林所有者や木材業界の経営意欲を減退させると同時に、さらなる経営環境の悪化が危惧される。また、それに伴う森林資源の循環利用(伐採→利用→植林・保育)の形態が損なわれ、地球温暖化対策や多面的機能の発揮、木材自給率向上のための森林整備や産業振興への影響が懸念される。とりわけ環境面での悪影響は、TPPによる経済的損失以上に危惧されなければならない問題であるといえる。

他方、近年の我が国における林業政策においては、2009年に「林業再生プラン」を制定して10年後の木材自給率50%を目指し、2010年の「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」や「地域材利用促進政策」等により国産材利用の拡大を図っており、2011年の木材自給率は26%まで回復し成果を上げている。TPPへの参加はこうした政策にも水を差す恐れも懸念されよう。以上のように、多くの問題・課題を抱えながら進展しているTPP交渉であるが、「国益」の中身を見据えて、単純な自由貿易化の観点のみで議論するのではなく、誰のための「国益」なのかを原点に帰って点検し、我が国の森林・林業の安定と持続を前提とした「持続可能な森林経営」の推進に資する貿易のあり方についても議論されるべきである。そのためには、撤退を含む明確な方針の下で現行関税水準堅持(状況によってはそれ以前に戻すことも検討)を前提とした交渉に挑むことが重要であろう。

<http://www.jagaimondai.jp>

ホクレン JMK じゃがいも問題研究所

北海道 じゃがフェス

北海道じゃがいもフェスティバル
北海道産じゃがいもオールスターが大集合!!

助手川本鈴矢 (AKB48チームB)

所長いもうろ

JAからの お知らせ

INFORMATION

第11回 理事会報告

11月28日、午前9時30分より第10回定例理事会が開催され、報告事項9件、議決事項9件、協議事項1件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ① 組合員状況報告について
- ② 財務状況報告及び決算見込について
- ③ 総合情報システム(営農支援システム)の運用について
- ④ 平成26年産共計玉ねぎ・馬鈴しょの選果販売状況について
- ⑤ 2014長いも祭り&収穫感謝祭実績について
- ⑥ 生乳生産状況及び個体取引価格について
- ⑦ 端野麦乾施設灯油流出に係る対応経過について
- ⑧ ネギハモグリバエに対する取組みについて
- ⑨ J Aグループ北海道改革プランについて

【議決事項】

- ① 出資減口及び持分譲渡について
- ② 諸規程の改正について
- ③ 固定資産の処分について
- ④ 外部出資の処分について
- ⑤ 年末手当の支給について
- ⑥ コンプライアンスマニュアルの改訂について
- ⑦ 貸付利息の期中還元について
- ⑧ きたみらい哺育センター牛サルモネラ病まん延防止対策に伴う支援について
- ⑨ 平成27農業年度事業推進方針について

【協議事項】

- ① 中ノ島 S S セルフの実績及び訓子府 S S セルフ化構想について

年末年始の営業日程

月日	曜日	センター 地区事務所	金融窓口	ATM	給油所
12月27日	土	休業	休業	営業	営業
28日	日	休業	休業	休業	営業 (温根湯・留辺蘂・訓子府・上常呂は休業)
29日	月	午前中営業	営業	営業	営業
30日	火	休業	営業	営業	営業
31日	水	休業	休業	休業	午前中営業
1月1日	木	休業	休業	休業	休業
2日	金	休業	休業	休業	休業
3日	土	休業	休業	休業	休業
4日	日	休業	休業	休業	営業 (9:00~15:00) (温根湯・留辺蘂・訓子府・上常呂は休業)
5日	月	休業	営業	営業	営業
6日	火	午前中営業	営業	営業	営業

新発売!『玉葱の塩だれ』

J Aきたみらいの加工品『玉葱の塩だれ』が12月8日、新発売になりました。『北見玉葱焼肉のたれ』とドレッシング2種に続く、2014年4品目の新商品。『玉葱の塩だれ』はじっくり炒めてペーストにしたJAきたみらい産玉葱をブラックペッパー、ガーリックとごま油が効いた塩だれに加えることで濃厚な風味を醸し出しています。この『玉葱の塩だれ』だけで簡単に美味しく、いろいろなお料理にもご利用いただけますので、ぜひご賞味ください。

また、JAきたみらいのホームページでは塩だれを使ったザンギのレシピを掲載。WEB購入もできますのでぜひご覧ください。

(<http://www.jakitamirai.or.jp/pickup/>)



▲ザンギのほか、色々な料理にご利用いただけます!

農業への思いを発表

平成26年度オホーツク総合振興局管内青年農業者大会が12月12日、北海道オホーツク総合振興局主催のもと端野町公民館で行われました。きたみらい管内からは遠藤幸枝さん、訓子府町4Hクラブが発表しました。

遠藤幸枝さんはアグリメッセージとして「魅力的な農業人へ～無限大の可能性～」と題し、「これからの農業はカッコいい」ことをもっと発信していきたいと発表しました。

訓子府町4Hクラブの林慎也さんはプロジェクト発表として「ヒヤリ・ハット～農作業事故を未然に防ごう～」と題し、農作業のどこに危険があるのか、それぞれが体験したことを共有して意識することが大事だと伝えました。

なお、遠藤幸枝さんはアグリメッセージ部門の最優秀賞に選ばれ、全道大会に挑みます。

(高田 陽介)



▲農業の魅力を発信することが大事だと発表する遠藤幸枝さん

12月号まちがいがし当選者

12月号のまちがいがしの答えは「1、3、6、8、10」でした。正解者29名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

()内は地区名

- ・真野 しず子さん (温根湯)
- ・田中 利枝さん (留辺蘂)
- ・荒 えみ子さん (留辺蘂)
- ・仁木 義信さん (置戸)
- ・浅川 友子さん (訓子府)
- ・久積 めいさん (訓子府)
- ・武藤 純平さん (訓子府)
- ・鉄地河原和子さん (北見)
- ・岡崎 祥悟さん (北見)
- ・会田 佳弘さん (端野)

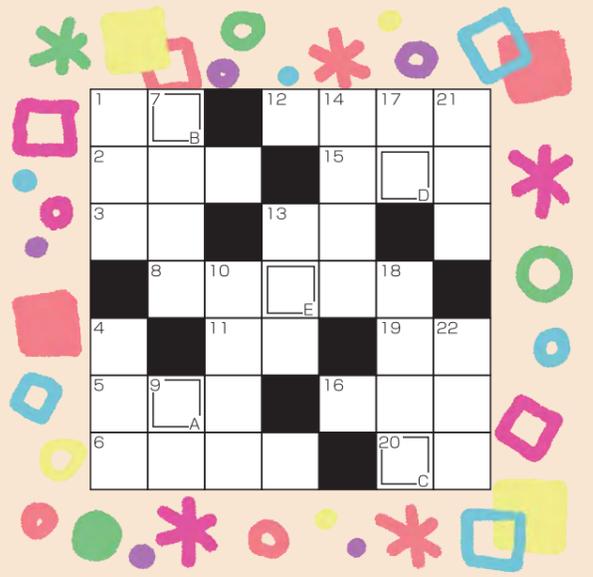
以上の方々には、JAきたみらいの「玉葱醤油と焼肉のたれ」をプレゼントします。

応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(キーワード)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。

抽選で15名の方に、Aコープの商品券1,500円分をプレゼントします。

クロスワードパズル



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

- ① タテのカギ**
- ①七福神の一人 タイを抱えています
 - ④117に電話すると分かります
 - ⑦スライスして焼いた食パン
 - ⑨笑い話の最後に付けるもの
 - ⑩階段の途中の広がっている所
 - ⑬たばこの一種 紙巻きより大きい物が多い
 - ⑭ロシアの首都
 - ⑰漢字では羊の歯と書く植物
 - ⑱海や川で魚介を捕るのが仕事
 - ⑲肉や乳などを利用するために飼育します
 - ㉒寝室から聞こえる「グォー、グォー」
- ② ヨコのカギ**
- ①平成27年は乙未(きのとひつじ)
 - ②鶏肉はチキン、牛肉は——
 - ③煙突の中にたまります
 - ④湖に張ったらスケートができるかも
 - ⑥ツルの物は長くワシは鉤(カギ)形
 - ⑧最短距離の道は通らずに……
 - ⑩縄文時代の物には縄で付けた模様があります
 - ⑫すわりと伸びた——のような脚
 - ⑬金属をたたいて薄く延ばした物
 - ⑮徳島県産のかんきつ類
 - ⑯1週間に7種類あります
 - ⑰夕空に輝く——の明星
 - ⑱晴れ着で成人——に出席する若者

あ けましておめでとうございます。初心忘るべからず。現状維持で今年も頑張ります。

(匿名希望)

あけましておめでとうございます。初心に返ることも大事ですよ。農協に入った時の気持ちを思い出して頑張ります。

毎 日楽しく読んでます。編集後記も時期に合った事で楽しいです。ありのままの～♪

(留辺蘂地区 荒 えみ子さん)

隅々までご愛読ありがとうございます!みなさんに楽しんで貰えて嬉しいです。これからもよろしくネ!

毎 日楽しみにしています。1年間ありがとう。

(上常呂地区 吉田 秀子さん)

ご愛読ありがとうございます。本年も楽しみにして下さいネ。

今 年も後、わずかですね。今年の文字は“税”だけど、私の一文字は色々な事があって、“驚”です。

(北見地区 黒須 正幸さん)

6月の37℃は驚きでした。みなさんにとってはどんな一文字に表されるでしょうか。私はウエストが6号“太”りました。今度こそ“瘦”の字にします!

VOICE 読者の声





白ごま風味の豆乳鍋

【エネルギー約540kcal(1人分)】

【作り方】

- ①生サケ、豆腐、野菜類は食べやすい大きさに切る。薬味のネギは細切り、スタチは2等分にする。
- ②練りごまと白みそに、温めだし汁を少量ずつ加え、溶いておく。
- ③土鍋などにお汁の材料を全て入れ中火で温める。
- ④③に具材を加え、カキとサケに火が通ったら器に取り分け、お好みの薬味でいただく。

メモ

美肌・アンチエイジング・抗酸化パワー効果などがいっぱいのお鍋です。栄養豊富なごまは、練りごまにすると体への吸収率がアップします。薬味をスタチから食べるラー油に替えると、和風がエスニックへ変身します。お楽しみください。

【材料：2人分】

- カキ ……8個
- 生サケ ……2切れ
- 豆腐 ……1丁
- ハクサイ ……200g
- シイタケ ……4枚
- ネギ ……2本

お汁

- だし汁 ……300ml
- 豆乳 ……500ml
- 白練りごま ……大さじ3~4
- 白みそ ……大さじ3~4
- 酒 ……大さじ1
- 塩 ……小さじ1
- しょうゆ ……大さじ1

薬味

- ネギ ……少々
- スタチ ……1個
- 食べるラー油 ……適量



干し柿入り紅白なます

【エネルギー約108kcal(1人分)】

【作り方】

- ①ダイコンとニンジン皮をむき、短冊切りにする(ニンジンはダイコンより薄めに切る)。
- ②3%の塩水を作り(500mlの水なら塩大さじ1程度)、①を10分程度漬ける。しんなりしたら、よく水気を絞る。
- ③ユズの皮1/2個分は千切りにし、果汁は搾る。昆布は千切り、赤唐辛子は種を除き細い輪切り、干し柿は太千切りにする。
- ④酢、蜂蜜、ユズの果汁、昆布、赤唐辛子を混ぜた中に、よく水気を切ったダイコンとニンジンを加え、優しく混ぜ合わせる。
- ⑤30分以上なじませてから、器に盛りユズの皮を添える。

メモ

干し柿の優しい甘さにユズの爽やかな香りをプラス。ビタミンCが豊富ですので、お正月以外にもサラダ感覚でたっぷりお召上がりください。甘味は体に優しい蜂蜜・メープルシロップ・アガペシロップなどがおすすめです。

【材料：2人分】

- ダイコン ……200g
- ニンジン ……30g
- 干し柿 ……1~2個
- ユズ ……1個
- 昆布 ……1cm
- 赤唐辛子 ……1本
- 塩 ……適量
- 酢 ……大さじ2~3
- 蜂蜜など ……大さじ1

編集後記

- ・あけましておめでとうございます。本年もご愛読のほどよろしくお願い致します。
- ・表紙には末年にちなみ、羊との写真撮影。協力して下さった南さんありがとうございました。柚季奈ちゃんも、風が強くて寒いなかなか頑張ってくれました。
- ・季節の薫りでは初日の出の紹介に、早起きしての撮影を2箇所挑戦。富里ダムから撮影する際、昇りゆく太陽を見て心に染み入るものがありました。
- ・昨年は色々な方のご協力を頂いた1年でした。ご愛読頂いた皆様にも感謝をお伝えするとともに、本年が良い年となるようご祈念申し上げます。

(高田陽介)

JAきたみらい概要

(平成26年12月17日現在)

- ・組合員数(正) 1,750人
- ・組合員数(准) 5,944人
- ・組合員戸数(正) 1,135戸
- ・貯金 106,176百万円
- ・貸出金 17,115百万円
- ・出資金 5,098百万円

発行 きたみらい農業協同組合
 〒090-0813 北海道北見市中ノ島町丁目1番8号
 TEL0157-32-8777(4)
 責任者/西川孝範
 編集者/宮農振興部:企画振興グループ